

タイムカプセルから  
見えたもの

八塩 圭子

「先日、懐かしい人から突然、こんなラインが来た。」

「近くまで来たので、ついでお届けものを門の所に置いておきました。怪しい茶封筒です。」

1年ぶり以上の連絡で、しかも、家のおばまで来たついでで、茶封筒つてそれは確かに怪しい以外の何者でもないだろう。家に帰宅して、びっくり。確かに門の柵の内側に茶封筒が。たぶんポストの位置がわからなかったのだろうが、雨降らなくてよかった。

茶封筒の外側には、「取扱注意 タイムカプセル在中」の文字が。なった何？何かの勧誘？それともドッキリ？ おそるおそる封筒を開いてみると、外付けハードディスクと思しき物体が。ますます怪しい。とはいえ、中身を見てみないことには始まらないので。パソコンにつないでみた

ころ…そこに写ったのは、在りし日の幸せな私の姿。確かにタイムカプセルだわ、これは。しかも、随分「ドカン」と大きいタイムカプセル。

この茶封筒の送り主は、昔々、私がまだテレビ東京にいた時代の、「出沒！アド街ック天国」のディレクターさん。なんと、2002年の結婚式の際、VTRを撮るだけ撮って、「暇な時に編集してね」と渡しておいたものが、14年の月日を経て、ここに完成映像として初めてお目見えしたのだった。

私、若い！ だんなさん、さらに若い！ 懐かしい面々もたくさん。愛川欽也さんの主賓の挨拶では、「早く別れて戻って来な」つてちよつとちよつと、愛川さん。おあいにく様、まだ夫婦やってますよ。人前式の結

婚式から、皆にカジノを楽しんでいたいた披露宴まで3時間くらいだったか。小笠原伯爵邸に番組ADさんまで関係者何百人を招待したか忘れたほど。今更だけど、至らない事ありまくりでお客さんには迷惑かけただろうな。それにしても、自分たちの結婚式の映像を、14年後に初



めて見る夫婦っているのかな。いや、普通は業者にお願いと1ヶ月後くらいに届けられるものだろう。それだけ、珍しい体験をさせていたでいて、とってもおもしろかった。恥ずかしくて直視できなかつただけ。

期せずしてタイムカプセルとなつてしまった理由はよくわかる。当時、動画を撮影することだつて、編集することだつて、基本的にはプロかマニアしかできないことだつた。特に編集

作業は編集機がないとできなかったもので、無理を承知でディレクターさんをお願いするしかなかった。もちろん、業者に頼めばできたのだが、そこは業界人の性が邪魔をした。

仕事で毎日編集している人に、「暇な時」なんか来るはずもな

く、そのうちVTR自体が行方不明になつていたらしい。ところがそれが見つかつて、しかも今は家のパソコンでちやちやと編集ができる時代ときた。どうやらお正月休みにちやちやと編集してくれたらしい。ありがたいことだ。

時代は変わったんだなあ。動画を撮って

編集して発信することなんて、昔はテレビ局の間人しかできない特権だったけど、今や誰もがYouTubeで自作動画を流す事ができる。私が就職活動していた頃は、メディアといえばテレビだったが、今はネットやSNSが主役で、そもそもメディア自体の人氣はがた落ち。活字メディアから映像メディアに、映像メディアから通信メディアに。メディアの送り手は、マスコミ企業から個人に。変わつていくからこそ、変わるべきでない重要なことが見えてくる。スペースも50年の歴史に句読点を打つらしいが、形は変わつても変わらないものを発信し続けてほしい。



八塩圭子やしおけいこ

上智大学法学部卒業。法政大学大学院社会科学研究所マーケティングコース修了。テレビ東京アナウンサーを経て2003年からフリー。現在「報道ライプインサイドOUT」(BS11・毎週月・木曜日21時〜21時54分/月、火曜日出演)、「松平健・高将の名言」(BSジャパン・毎週日曜日11時〜11時30分)に出演中。テレビ、ラジオ出演のほか、執筆活動も行う。06〜09年関西学院大学商学部准教授、09〜16年学習院大学経済学部経営学科特別客員教授、16年から東洋学園大学現代経営学部准教授。専門は、マーケティング・コミュニケーション・メディア戦略など。近著に、「八塩式マーケティング思考術」(日本経済新聞出版社)。